

♪出演者プロフィール♪



三塚 直美 (ソプラノ) 東京藝術大学声楽科卒業。在学中、ロッシェニ生誕200周年国際オペラコンクール最高位。ペーザロのアカデミアロッシニアーナ修了。アルベルト・ゼツダ指揮により新星日響と共演。平成5年度文化庁芸術インターンシップ研修生。NHK 洋楽オーディション他、種々のオーディションに合格し NHK-FM 等に出演。又、イタリア各地で演奏会に出演。今までに、「デイドとエネアス」、「フィガロの結婚」、「椿姫」、「ウエストサイド物語」等のオペラやオペレッタに多数出演。又、毎年「第九」の他に、バッハ、ヘンデル、モーツァルト、ブラームス、メンデルスゾーン等の宗教曲のソリストも数多く務めている。



紙谷弘子 (メゾソプラノ) 東京芸術大学卒業。同大学大学院修士課程独唱科修了。ウィーンにてドイツ歌曲を学ぶ。第7回奏楽堂主催日本歌曲コンクール第3位入賞。友愛ドイツ歌曲コンクール第2位入賞。歌曲を中心としたコンサートや新作歌曲演奏等に多数出演している他、モーツァルト「魔笛」、「フィガロの結婚」、ビゼー「カルメン」、シューマン「ゲノフェーファ」(本邦舞台初演)他、モーツァルト「ハ短調レクイエム」、バッハ「ヨハネ受難曲」、「マタイ受難曲」、ヘンデル「メサイア」等、宗教曲のソリストとしても活躍中。2004年日本演奏連盟の推薦により東京文化会館小ホールに於いてデビューリサイタルを開催。現在洗足学園音楽大学、聖徳大学音楽研究センター各講師、二期会会員。



栗飯原 俊文 (テノール) 東京音楽大学器楽科トロンボーン専攻卒業。卒業後、イタリアにて本格的に声楽を始める。発声法をドナータ・ターベット氏に、オペラ解釈をパオロ・シルヴェーリ氏に師事し、その後、世界的テノールのジャンニ・ライモンディ氏の下、研鑽を積み、数多くのオペラやコンサートのソリストを務める。主な出演作品は、「ラ・ボエーム」、「蝶々夫人」、「ドン・ジョヴァンニ」、「コシ・ファン・トゥッテ」、「椿姫」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」、「こうもり」、「泣いた赤鬼」、「第九」、「メサイア」、「レクイエム」、「ミサ曲」、「カンタータ」等。現在、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師、二期会会員、東京室内歌劇場会員。



三塚 至 (バリトン) 中央大学文学部卒。東京藝術大学声楽科、同大学院修了。毎年「第九」、「メサイア」、バッハの「マタイ受難曲」幾多の「カンタータ」や、モーツァルト、フォーレ等の宗教曲のソリストをつとめている。又、多くのオペラに出演、特に97,99年新国立劇場での「ハムレット」(トマ作曲)タイトルロール(主役)。05年「ヴァンパイア」主役。09年「じゃじゃ馬ならし」ペトルーキオ役などの日本初演作品にも意欲的に参加。またオペラ彩主催ヴェルディのナブッコ(2008年度三菱UFJ信託音楽賞奨励賞受賞)ではタイトルロールを演じた。13年5都市オペラ「カルメン」に参加。同年「マクベス」でタイトルロールを演じている。東洋英和女学院大学 桐朋学園芸術短期大学 捜真女学校講師。



堤 ゆり (ピアノ) 東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修士課程修了。ピアノを鶴田和子、田村安佐子、山崎冬樹、オルガンを堀井美和子の各氏に師事。合唱、声楽、室内楽などのアンサンブルピアニストとして、また主に宗教音楽の通奏低音(チェンバロ・オルガン)奏者として、多彩な活動を行っている。現在、K.M.C.(柏メサイア・クワイア)およびシングイン・メサイア トウキョウにて事務局の一端と練習伴奏、本番の通奏低音を担うほか、コーラスM.I.N.、コール・ありの実、ハミングウェーブ、白井少年少女合唱団など多くの合唱団のピアニスト、コールヴォンネ副指揮者、日本キリスト教団鎌ヶ谷教会オルガニストおよび聖歌隊指揮者を務める。



越川 伊豆美 (オルガン) 東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。オルガンを秋元道雄、酒井多賀志、高橋靖子の各氏に師事。現在、経堂めぐみ教会オルガニスト。青山学院大学オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。